

静岡市ろうあ協会報

第 015 号

発行所 静岡市葵区城内町 1-1
静岡市中央福祉センター
発行人 小泉 秀力
編集人 森 匡之
発行日 平成 23 年 1 月 4 日

市・県・東海・全国など

新年あいさつ

静岡市ろうあ協会
会長小泉秀力

新年あけましておめでとうございます。

本年は「ウサギ」のように敏感（迅速）、活発（元気）、繁殖（会員拡大）の年にしたいと願っています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年 4 月から市の補助金を受け、「ありんこの里」の施設がスタートしました。改めてご協力いただきました会員、手話関係者の皆さまに心からお礼を申し上げます。

ありんこの里の通所者は、機織り機でバザーに出店するマットなど、手作りの物を製作しながら生き生きとした生活を送っています。「ありんこの里」では高齢ろうあ者のボランティア支援及び指導は欠かせないものになっています。「ありんこの里」は、通所する重複障害者だけでなく、高齢ろうあ者にとっても毎日仲間と会う事で手話で交流できる大切な場所であることは自明の理です。

昨年は「第 2 回ありんこの里まつり」が台風接近のため、やむなく中止になり実行委員一同意気消沈しましたが、来年は無事に開催できることを期待し、多くの方に来場していただけることを心待ちにしています。実行委員の皆さまには引き続きご協力をお願いします。

10 月 22 日～23 日の群馬県伊香保温泉一泊旅行は日々の活動の羽根を伸ばすことで、会員同士が更に深い絆を確認する事ができた思い出に残る楽しい旅行になりました。数年後にまた旅行を計画したいと思いますので、ぜひ皆さんの参加をお願いします。

今年は、昨年より活動が忙しくなることと思います。まず、「We Love コミュニケーションパンフ普及・署名運動」が始まります。「障害者自立支援法」を廃止、代わりに新しい「総合福祉法（仮称）」の制定を整備するために、国民への理解を求める運動です。私たちの声を政府に届けるためには、全国でパンフレット 30 万部の普及と 120 万人署名活動が必要になります。静岡県では 9,000 部パンフ普及と 36,000 人の署名運動を目指します。目標達成のためには地道な努力が必要になりますが、会員だけでなく手話関係団体と一緒に心血を注いで運動を進めていきましょう。

今年の 6 月には静岡県ろうあ者大会が静岡で開催されます。現在、大会成功に向けて大会実行委員会が準備を進めています。多くの要員が必要になりますので、要員協力の依頼がありましたら是非お力添えをお願い申し上げます。

結びになりましたが、今年も静岡市ろうあ協会でも多くの行事を企画していますので、会員が一心同体となり行事や活動を盛り上げていきましょう。静岡市ろうあ協会の会員、手話関係者の皆様の発展と健康を祈って新年のご挨拶といたします。

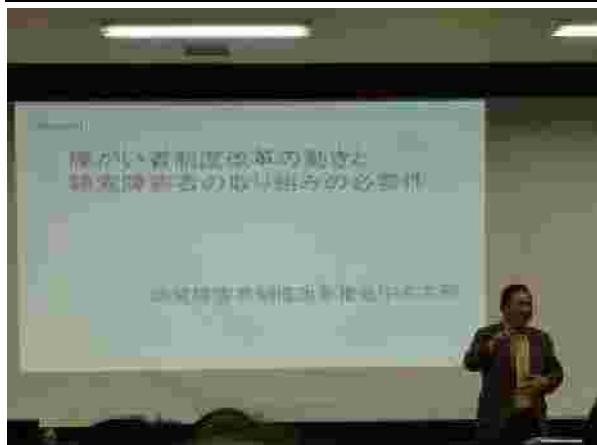


社団法人静岡県聴覚障害者協会 平成 22 年度臨時総会

11/21(日)ぬまづ健康福祉プラザにて「社団法人静岡県聴覚障害者協会 平成22年度臨時総会」が行われました。

議案は全て可決され、「公益社団法人静岡県聴覚障害者協会」への移行を申請することになりました。県の審議会で認定された場合、来年4月からは「公益社団法人静岡県聴覚障害者協会」と名称を改め、団体として新たなスタートを切る予定です。

「We Love コミュニケーションパンフ」学習会



(写真) 西滝憲彦氏の講演



(写真) シュプレヒコールの様子

12/5(日)静岡県総合社会福祉会館にて、「we Love コミュニケーションパンフ」普及と署名活動のための学習会」が行われました。

財団法人全日本ろうあ連盟理事の西滝憲彦氏を講師にお迎えし、「障がい者制度改革の動きと聴覚障害者の取り組みの必要性」をテーマとした学習会が開かれました。内容は、障害者自立支援法の問題点の解説から始まり、現在の状況から今後の課題、運動の進め方についてのお話がありました。西滝憲彦氏の講演後は、今後の取り組み方についての説明を受け、最後に参加者全員でシュプレヒコールを行いました。

静岡市ろうあ協会でも 1月16日開催予定の「we Love コミュニケーションパンフ学習会」を皮切りに「We Love コミュニケーション」パンフ普及と署名活動を行う方向で調整中です。詳細がわかり次第、別途告知する予定です。



(写真) We Love コミュニケーションの冊子

We Love コミュニケーション

～ 情報・コミュニケーションは生きる権利 ～

(編集：聴覚障害者制度改革推進中央本部)

価格：300円

希望者は、静岡市ろうあ役員またはブロック定例会、各手話サークル等で購入をお願い致します。また、1月16日開催予定の学習会でも販売します。

静岡市ろうあ協会本部旅行

10/23(土)～24(日)に「静岡市ろうあ協会本部旅行」が行われ、参加者からの感想が寄せられました。

■コース

<1日目>

野辺山(休憩)→佐久乃おぎのや(昼食)→鬼押し出し園(見学)→浅間酒造(買物)→伊香保温泉・ホテル天坊(宿泊)

<2日目>

水沢観音(参拝)→庵古堂(買物)→長瀬ライン下り(昼食・自由散策)

【感想 / 岡村健吾】

今年、静岡市に引っ越してきて初めて本部旅行に行きました。バスの中では将棋をやりながら楽しみ、観光地に着くとみんなで固まって見て回りました。群馬県の伊香保温泉は初めてでしたが、静かな所で落ち着きました。また、印象に残ったのは埼玉県の長瀬ライン下りで、舟に乗って川を下っていくのが楽しかったです。

今後、本部旅行の企画があれば、また行きたいです。

【感想 / 筑地昌明】

一泊で群馬県の伊香保温泉に行きました。

まず、長野方面へ向かって、佐久乃おぎのやで昼食、鬼押し出し園で見学をした後、伊香保温泉に着きました。温泉近くにある石段街で1時間位歩きました。

2日目は、水沢観音で参拝した後、長瀬で荒川ライン下りをしました。川下りは初めての体験でした。想像以上に面白くて楽しかったです。

忙しい時にこの企画を立ててくれた役員の皆様、本当にありがとうございました。そして次の旅行の企画を楽しみにしています。

【感想 / 安本真紀子】

10/23(土)～24(日)の1泊2日で本部旅行に行きました。

私は群馬県へ行ったことがないので、初めて行くのを楽しみにしていました。行って印象に残ったのは、鬼押し出し園です。鬼押し出し園は岩がいっぱいあり、たくさんの山や植物もあり、眺めは良かったです。秋なのに紅葉がまだだったのは残念でした。年輩の方と交流したり、天気に恵まれながら観光したり楽しい旅行になりました。



(写真) 鬼押し出し園にて



(写真) 長瀬ライン下りにて

青年部

静岡ろう学校 & 静岡市ろうあ協会青年部 交流会



(写真) 紙飛行機飛ばし



(写真) 参加者の集合写真

実施日 平成 22 年 10 月 2 日(土)
場 所 静岡ろう学校

10/2(土)静岡ろう学校にて、「静岡ろう学校 & 静岡市ろうあ協会青年部 交流会」が行われ、53名の参加が集まりました。

【感想 / 安本真紀子】

10/2 に静岡ろう学校交流会で紙飛行機作りをやりました。

生徒と一緒に紙飛行機を作りましたが、色々な折り方があって難しかったです。青年部の人たちと協力して生徒の紙飛行機を作りあげることができました。そのあと、幼稚部、小 1～3 年、小 4～6 年、中学生に分けて飛行距離・滞空時間・的当ての 3 つのゲームをしました。生徒と楽しそうに交流することができ、良かったです。

第 31 回静岡県ろうあ青年研究討論会 in 小笠



(写真) 緒方レン氏とモンキー高野氏

実施日 平成 22 年 11 月 6 日(土)～7 日(日)
場 所 袋井市、菊川市

(1 日目) 講演/講師: モンキー高野氏・緒方れん氏
(2 日目) 分科会 など

11/6(土)～7(日) 袋井市・菊川市にて、「第 31 回静岡県ろうあ青年研究討論会」が行われ、参加者からの感想が寄せられました。

【感想 / 山本寛子】

11 月 6～7 日に袋井、菊川で開催された県青研に行ってきました。

今まで青年部のイベントにはあまり縁がなく、県青研も初参加でした。

私には難しい内容だろうな...と思っていたら、一日目の午前の部は緒方レンさんとモンキー高野さんの夫婦漫談で、葬式など生活の中でのろう者と健聴者の違いを表現されていました。ベテランなお二人だけあって表情が豊かでとても面白可笑しく、久々に笑い涙が止まりませんでした。今回だけでは勿体ない面白さで、今でも脳裏に焼きついて、思い出し笑いしてしまいます。(アプナイ)

午後の部と二日目は分科会で、私は緒方レンさんの「れん道場～翻訳ワークショップ～」を選びました。「日本語(文章)から日本手話へ」、「日本手話から日本語(文章)へ」という私にはなかなかハイレベルな内容で、例えば「まあまあ」の基準が“普通”より“上”がろう者で、“普通”より“下”が健聴者といった、日本語と日本手話の言語が異なり、通訳とろう者の間に誤解が生じる原因でもあるようです。ろう者も通訳の立場になって、様々な文章を分かりやすく簡潔な手話で表現してみました。まとめすぎたり、意味が伝わらなかったりとなかなか難しかったです。レンさん曰く、手話は「語り」→「動作(ＣＬ)」→「空間」が大事とのこと。改めて通訳の難しさを思い知り、通訳の立場を理解する機会が無かったので参加して良かったです。いい経験になりました。

第 37 回東海デフヤングフォーラム

9/25(土)～26(日)岐阜県にて、「第37回東海デフヤングフォーラム」が行われ、参加者からの感想が寄せられました。

【感想 / 梅原綾乃】

9月25日～26日の2日間、東海デフヤング・フォーラム in 岐阜に参加してきました。静岡から高山までは遠い程遠いです。。長旅は疲れました。

一日目はグループに分けて高山観光！私は、初めて高山観光。観光せず、食べ歩き＆歩きながらお喋りの方が多く感じてます。笑
お勧めの観光が全く、分からずに後悔。でも、実行委員がコースを考えてくれたら助かったです。交流会では、初めて岐阜県の青年部員と会いましたが、私より若いメンバーがいてビックリした…。

二日目は、講演会で「今更、聞けないマナー」。
本当は、二つの分科会で交替制で行う予定でしたが、参加者人数の都合で講演会のみになり、とても残念でした。冠婚葬祭のマナーが中心を進めてきましたが、自分が「当たり前」だと思っても、実は間違いだらけと言うのが多かった。一方、三つ（結納、挙式、披露宴）を行わないと離婚しやすいと説明ありましたが、本当なのかなあーと不思議です…（汗

指定先の高山グリーンホテルでは、温泉が素晴らしく、翌朝も入りました（^ - ^）

来年は三重県が担当なので、来年の東海デフ・ヤングフォーラムに参加してみても？
再来年は、静岡県担当です。もしかしたら、静岡県中部が実行委員になるかもしれないので、下見として、是非参加して下さいね。

第 44 回全国ろうあ青年研究討論会 in 山形

11/20(土)～22(月)山形県にて、「第44回全国ろうあ青年研究討論会」が行われ、参加者からの感想が寄せられました。

【感想 / 秋山優】

今回山形で開かれた全青研に初めて参加しました。私は手話の読み取りもまだまだ満足にできない状態だったので、緊張でドキドキしながら行ってきました。要約筆記に頼りっぱなしでしたが、一日目の記念講演も二日目の入門の分科会もとても勉強になりました。交流会ではたくさんの人と出会い話せて、三日間とても充実した時間を過ごすことができました。本当に帰りたくないくらい楽しかったです。

来年の山梨県甲府市で開かれる全青研にもぜひ参加したいと思いました。

手話普及対策部

心のバリアフリー イベント



(写真) 手話教室の様子

実施日	平成 22 年 11 月 20 日(土)
場 所	エスパルスドリームプラザ

テーマ：

「ともにふれあい、笑顔で心のバリアをなくそう！」

11/20(土)エスパルスドリームプラザにて、「心のバリアフリー イベント」が行われました。

福祉関係団体が参加する中、静岡市ろうあ協会は手話体験コーナーを開きました。

体育部

第 44 回全国ろうあ者体育大会

9/16(木)～19(日)徳島県内各地にて、「第44回全国ろうあ者体育大会」が行われ、静岡市ろうあ協会からは、卓球、バレー、ボウリングの各競技に参加しました。各競技の結果は以下の通りです。

〔卓球〕(参加者：曽根)

個人戦 3 回戦敗退 ベスト 32

団体戦 予選突破 決勝トーナメント 1 回戦敗退

〔バレー〕(参加者：植松)

静岡 1 - 2 京都・静岡 0 - 2 千葉 ... 予選落ち

〔ボウリング〕(参加者：福島、柏木)

個人戦 福島:38 位 柏木:104 位 ... 予選落ち

団体戦 (福島、他 3 名) 11 位

第 41 回政令市身体障害者親善スポーツ大会



9/4(土)～5(日)千葉県千葉市にて、「第41回政令市身体障害者親善スポーツ大会」が行われました。

静岡市ろうあ協会からは、小泉会長、福島体育部長、武田知美、柏木聡幸の 4 名がボウリング競技に参加し、感想が寄せられました。

(写真) 集合写真

【感想 / 柏木聡幸】

9 月 4 日～5 日に行われた政令市身体障害者親善スポーツ大会に初めて参加しました。

1 日目は初めて出会う聴覚障害者の方々と交流しながら親睦を深め、楽しむ事ができました。

2 日目はボウリング競技が行われ、僕は初めて優秀賞を獲得しました。優秀賞を獲るとは思っていなかったので、すごく感激しました。団体戦はベストを尽くしましたが、残念な結果に終わりました。でも、感動し、良い経験になりました。来年もまた参加したいです。

【感想 / 武田知美】

9 月 4 日(土)～5 日(日)千葉県千葉市にて、身体障害者スポーツ大会にボウリング部として初めて参加してきました。ボウリング大会は 5 日千葉リバーレーンで行われ、静岡市から 10 名の身体障害者が参加しました。そのうち 3 名がろう協ボウリング部です。

ゲームは 1 人 6 ゲームです。静岡市 10 名の合計スコアで競いました。身体障害者別、年齢別に点数が決まられていて、静岡市 10 名の持ち点は 24 点。障害が重いほど点数は高いです。(例) 障害の軽い聴覚障害者は男性 1 点、女性 2 点。静岡市 10 名の持ち点が 30 点未満なので 1 ゲームにつき、1 人 - 50 点 × 6 ゲーム = 1800 点が静岡市のハンディとなり、苦しいゲームとなりました。

当日は大きな大会とあって試合前からドキドキして緊張してしまい、私自身なかなか思うようなスコアが出せなかったのは残念でした。結果は札幌市が優勝、静岡市はハンディ 1800 点が 10 人の合計からマイナスされたので最下位となり残念な結果で終わりました。しかし、県外のろう者と交流しながらボウリングできたのでよかったと思います。楽しくゲームができました。

来年は大阪で行われると決定されたので、来年までに技術を磨いてがんばろうと思います。

文化部

消防署見学会

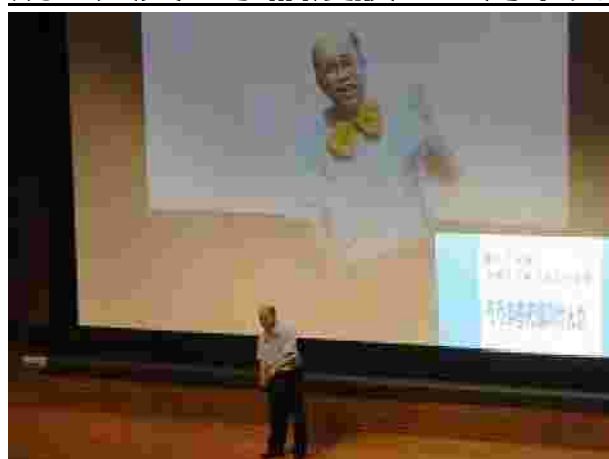
11/21(日)静岡市追手町 消防署にて、文化部と災害対策委員会と合同で「消防署見学会」が行われました。

当日は 18名の参加が集まりました。内容は、2 グループに分かれて庁舎見学、消防車両見学、Web119説明会を行いました。Web119説明会では多くの質問があったのは良かったですが、終了時間が予定より 1時間オーバーしてしまったのは残念でした。

機会があれば、学習会などの企画も立てたいと思います。

その他

続・大笑い手話漫談 ～月曜男とその仲間たちがやって来た！！～



(写真) 手話教室の様子



(写真) 手話教室の様子

実施日 平成 22 年 10 月 11 日(月・祝)
場所 清水テルサ

10/11(月・祝) 清水テルサにて、「続・大笑い手話漫談 ～月曜男とその仲間たちがやって来た！！」が行われました。

300人近くもの観客が集まる中、“月曜男とその仲間たち”は 20 近くものネタを披露し、会場は笑いの渦に包まれるなどの大盛況のうちに終わりました。また、この様子が毎日新聞10月13日朝刊、静岡あさひテレビ 10月18日夕方のニュースで取り上げられました。



【静岡新聞 / 2011 年 11 月 10 日・朝刊】

情報

静岡市防災メール発信

静岡市より、9月1日から「静岡市防災メール」が開始しました。(静岡気分8月15日掲載)

【静岡市防災メールとは？】

- ・地震関連情報：東海地震、震度（市内の震度4以上の地震）、津波に関する情報
- ・気象関連情報：気象警報(大雨/洪水/暴風など)、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報 など

→ 申込方法（携帯電話からの申込可、参考：<http://www.city.shizuoka.jp/000099934.pdf>）

登録用アドレス（siz-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.com）に空のメールを送信。

数分後に届いたメールの指示に従った上で登録。

お詫び

「静岡市ろうあ協会報第014号」5～6ページの「長寿番付」でいくつかの掲載ミスがありました。関係者ならび会員の皆様にこの場を借りてお詫び申し上げます。

今後の行事予定

日程	内容	場所
2011/01/16(日)	[市]「We Love パンプ」学習会	静岡市中央福祉センター
2011/01/22(日)	[市]Deaf-PC カフェ	サウスポット静岡
2011/01/30(日)	[県]ろう教育フォーラム	沼津市
2011/02/11(金・祝)	[市]市サ連ボウリング大会	ヤングランドボウル(清水区)
2011/02/13(日)	[県]手話通訳者健康管理講習会	
2011/02/19(土)～20(日)	[中]中サ連一泊研修会	島田市ほか
2011/02/26(土)	[市]するがの会創立 40 周年記念大会	静岡市
2011/02/27(日)	[県]県デフヤングフェスティバル	焼津市
2011/03/06(日)	[県]みみの日大会	
2011/03/13(日)	[県]県内研	静岡県総合社会福祉会館
2011/03/20(日)	[県]静聴協評議員会・総会	静岡市
2011/04/03(日)	[県]県青年の集い	湖西市

各行事の詳細はビラなどを参照してください。

原稿募集

団体の動き、話題、会員消息、問題提起など、
どんどん原稿を投稿してください。

締切日 3月14日
投稿先

F A X 054-374-3110
E メール gdeh_tree3@yahoo.co.jp
機関紙担当 森 匡之

次回発行(16号)は、4月5日の予定。

編集あとがき

2011年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。2010年の機関紙は専門部の部長の協力もあり、行事参加者の声をより直接伝えられる内容を作りあげることができました。

また、引き続き原稿等もお待ちしています。
(連絡先は左枠参照。)

機関誌部・部長 森 匡之